

PRESS RELEASE



UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

プレスリリース 2022年1月7日

独創性こそが原動力 伝統のcセグメントシトロエンの復活 NEW C4 & Ë-C4 ELECTRIC登場



Groupe PSA Japan株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長 兼 CEO：ポンタス・ヘグストロム）は、2022年1月7日（金）、シトロエンの伝統であるcセグメントハッチバックの復活となる「NEW C4」および「NEW Ë-C4 ELECTRIC」を発表し、全国のシトロエン販売店にて2022年1月22日（土）より発売いたします。

ハッチバックモデルに息づく、シトロエンの独創性を現代に。

シトロエン伝統のCセグメントハッチバックがついに復活します。このNEW C4 & Ë-C4 ELECTRICは、どこよりも独創的であること、どこよりも快適であること、というテーマを追求しつづけ、戦前のC4（1928年）から続くシトロエンの歴史のあらたなる1ページを創ることになるでしょう。AMI 6（1961年）、GS（1970年）、GSA（1979年）、BX（1982年）、Xsara（1997年）、C4i（2004年）、C4 CACTUS（2014年）……現代にいたるまで、シトロエンは100年ものあいだコンフォートを実現すべくあらゆるイノベーティブな技術を用い、独創性を原動力として、人々の移動の自由とその移動をより快適することを目指してまいりました。そんなシトロエンのDNAを受け継ぎ、完全にあたらしい世代のデザインとパフォーマンスを身に纏ったNEW C4とNEW Ë-C4 ELECTRICが、いよいよ日本の道を走りはじめます。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp



UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

シトロエンはSUVの分野ですでに C3 Aircross SUV と C5 Aircross SUVが2017年末のグローバルでの発売以来、それぞれ30万台超と20万台超を売り上げ成功を収めています。日本においても同様でこれらにC3とグランドC4スペースツアラー、BERLINGOを加えたラインナップにより2013年以来10年連続で販売記録を更新し続けています。その躍進の次なるステップとしてシトロエンはCセグメントハッチバック市場への堂々たる復帰を果たします。

欧州ではハッチバックマーケットはメインストリームの一つであり、2019年、Cセグメントの販売実績のおよそ28%を占めています。日本においても同様で輸入車市場の31%をCセグメントが占めており、そのなかの25%がハッチバックのボディ形態となっているのです。このマーケットにおいてNEW C4 & E-C4 ELECTRICは、同セグメントにおいて期待されるべきものをすべて満たしており、同時に、こんにちの市場において、モダンかつ強いキャラクター性を持つコンセプトを提供しています。100% 電動モーターかガソリンまたはディーゼルエンジンで提供されるこのニューモデルは、シトロエンが新たな世代に突入したことを示すハッチバックであり、まさにInspired by Customer ——カスタマーから得られた示唆—— と、カスタマーの生活のなかでの自動車への接し方とモビリティ体験に基づいて完成させたモデルです。シトロエンはこのNEW C4 & E-C4 ELECTRICによってセグメントの常識を再定義することになるでしょう。

NEW C4 & E-C4 ELECTRICは以下のような特徴を備えています。

- ・コンセプトカーCXPHEREに直接的にインスパイアされた新世代ハッチバック
- ・ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、そして日本のシトロエンとして初となるBEVの3つのパワートレインを選択可能
- ・伝説のハイドロニューマチックの現代的解釈、プログレッシブ・ハイドロリック・クッション（PHC）による柔和な優れた乗り心地
- ・独自の構造のアドバンスドコンフォートシートによるラウンジのソファのような快適な座り心地
- ・クラス最大級の後席ニースペースの確保
- ・10インチタッチスクリーン、助手席ダッシュボードのタブレットスタンドなど、あたらしいインフォテイメントの提供
- ・レーンポジショニングアシスト、アクティブクルーズコントロールなど先進の運転支援機能

デザインとスタイリング：“革新的”というシトロエンの伝統を新デザインコードで

NEW C4 & E-C4 ELECTRICは、そのセグメントの中でもそのユニークかつ大胆なアイデンティティを主張する、あらたなコンセプトを表現しています。ボディを高く持ち上げることで、シルエットそのものでNEW C4 & E-C4 ELECTRICとわかる、ほかのどれとも似ていない独創的なスタイルを創造いたしました。ハッチバックのエレガンスとダイナミズムを備えつつ、そこにSUV的な力強さと個性を融合しています。エアロダイナミックかつ流れるようなラインを備えたNEW C4 & E-C4 ELECTRICには、プロポーション、シルエット、ディテールといったあらゆる要素において革新的であること、というシトロエンのブランドアイデンティティがしっかり刻まれています。それでいて、ブランドのデザイン表現にあらたな風が吹き込まれているのです。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時



NEW C4 & ë-C4 ELECTRICのデザインは、2016年のパリモーターショーにてワールドプレミアされたCXPÉRIENCE（Cエクスぺリエンス）に直接的にインスパイアされています。フロントグリル中央のダブルシェブロンから続くクロームのラインが左右にV字型のLEDシグネチャーライト（上段：デイトタイムランニングライト、下段：ヘッドライト）と伸びやかに繋がり、大胆さとシャープな力強さを表現しています。C4カクタス以来のデザインキーを受け継ぐハイボンネット、大径ホイールと地上高がもたらす高めのアイポイント、それでいながらクーペのような、なだらかに傾斜するルーフライン。真新しいフォルムは、ボディ床面の空力対策とあいまって優れたエアロダイナミクスを生み出しています。さらにリアランプの造形も同様にV字型のデザインを採用。NEW C4 & ë-C4 ELECTRICは、どこからみても独創的で個性的という表現が当てはまります。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時



NEW ë-C4 ELECTRIC



CXPERIENCE

しかし、同時にそのルーフラインやサイドシルエットは、どこかかつてのミドルクラスシトロエンの名車、GSをも彷彿とさせてくれます。ディテールにいたるまでまごうことなき最新のシトロエンでありながら、どこか伝統的な懐かしさを感じるのは、こうした要素を備えているからに他なりません。



インテリア：移動の喜びをすべての人に平等に

NEW C4 & ë-C4 ELECTRICのデザインチームは、エクステリア同様の独創性をインテリアに追求しました。運転者と同乗者に平等な移動の喜びとリビングのような居心地の良さ、くつろぎ感を提供すべくCITROËN ADVANCED COMFORT®プログラムのコンセプトを新世代デザインと融合。ダッシュボードは横方向の広がり感を強調する水平基調とし、センター部に10インチのタッチスクリーン・インフォテインメントシステム※を搭載しています。その下にエアアウトレット、さらに下にはあらたにダイヤルと押しボタンのフィジカルな空調コントロールを設け、運転中の操作性をアップ。タッチパネルと物理スイッチの機能の切り分けをおこない、UI/UXの最適化と再構築をいたしました。メーターは5.5インチデジタルインストルメントパネルとポップアップ式のカラーヘッドアップディスプレイとなっています。ドライバーが運転中に必要な情報を瞬時に読み取ることができるよう、シンプルで明快なグラフィックが特徴です。レーンポジショニングアシスト、アクティブクルーズコントロールなどの操作はロジックを変更し、ステアリング左に集約。シフトセクターはクロームで仕上げたトグルスイッチを新採用し、指先の軽いタッチで操作が可能となっています。

※日本のナビシステムはオプション装着できません。USB-Type Cケーブル接続によるApple CarPlayおよびAndroid Autoをご利用ください。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時



シートはC5 Aircross SUVで初導入され、C3、C3 Aircross SUVと展開され好評を博してきたアドバンスドコンフォートシートを全車に採用。シート生地裏に特別なフォームを配することで、身体とシートの“当たり”感を改善したシートです。生地裏のフォームのボリュームも従来の2mmから15mmへと大幅にアップしたことで、しっとりふっかりとした比類ない柔らかさを実現し、疲労につながる車体の微震動をシートが吸収します。

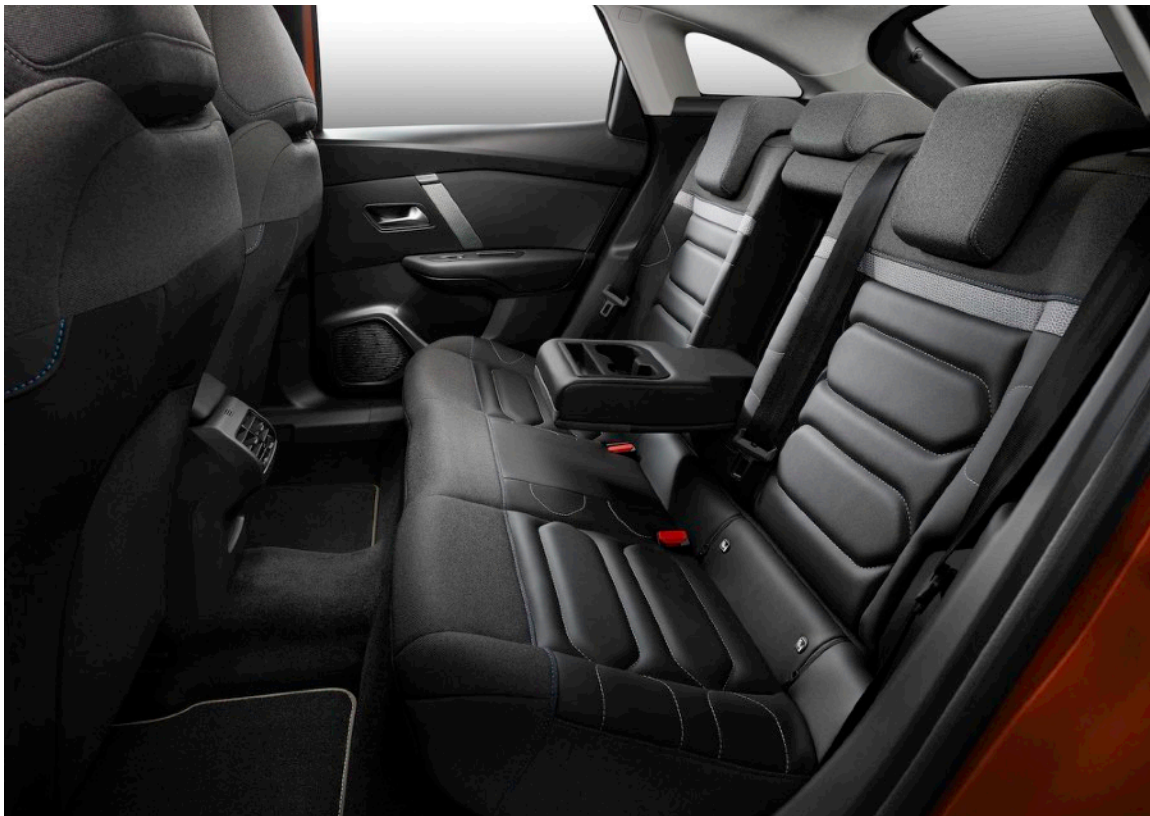


INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

後席はクーペのような流れるルーフラインでありながらライニング形状を最適化し、ヘッドクリアランスを確保しています。2665mmのロングホイールベースの恩恵を受けるクラス最長レベルの余裕ある後席ニースペースを誇り、大人4人が快適に平等に移動の喜びを享受できることでしょう。



パワートレイン：ガソリン、ディーゼル、電気。どれでもご自由に。

NEW C4 & ë-C4 ELECTRICにとってICE（Internal Combustion Engine=内燃機関）とEV（電気モーター）は、まったく同等です。ガソリンエンジン、ディーゼルエンジン、BEVで同じSHINEグレードを用意いたしました。異なるパワートレインでありながら同一トリムとすることで、乗り味、機能、装備、スペースなど自動車としての基本を同等とし、ユーザーのライフスタイル、使用状況、好みなどに応じて自由に選んでいただけるようになりました。

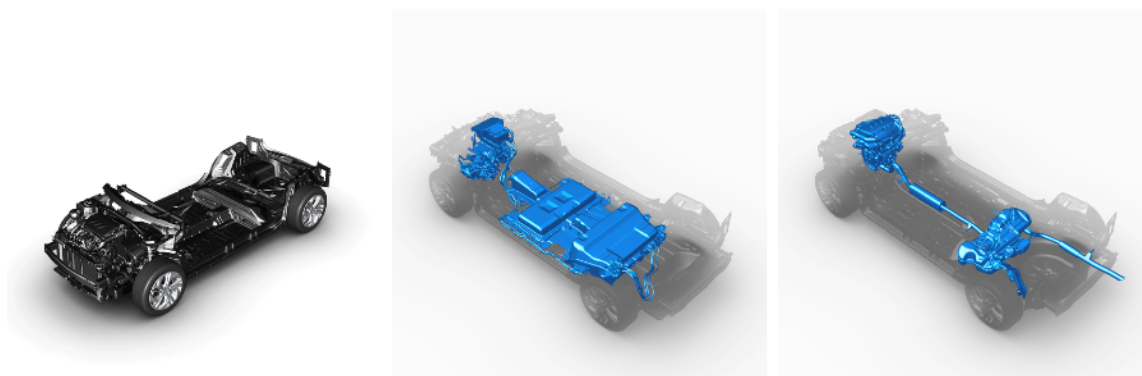
このコンセプトは、最新世代のコンパクトプラットフォーム CMP（Common Modular Platform）の上に成り立っています。このBセグメントおよびCセグメント専用のあたらしいプラットフォームは、その名が示すように、ディメンジョンとパワーユニットのバリエーションに高い柔軟性を備えており、ICEとBEVを混流生産することすらも可能です。NEW C4 & ë-C4 ELECTRICでは、このCMPをロングホイールベース化して使用しています。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

なお、EVバージョンのeCMP場合、リアサスペンションのトーションビームに重量増による横方向の負荷に対応するためパナールロッドが追加されています。



※CMPの詳細な資料は別紙「CMP資料抄訳」をご参照ください。

NEW ë-C4 ELECTRIC：日本におけるシトロエン初となるBEV

NEW ë-C4 ELECTRICは日本におけるシトロエン初のフルEVです。C5 Aircross SUV Plug-in Hybrid に続く電動化モデル第二弾となるこれには、パワーユニットには最高出力100kW（136ps）、最大トルク260Nmの高効率電動モーターと50kWの大容量リチウムイオンバッテリーパックを採用。このバッテリーパックは、液冷ヒートポンプで充放電時のバッテリー温度の管理と最適化を図っています。一個当たり約13.1kgのモジュールを18個組み合わせ、総体積約220ℓ、重量約350kgのこのバッテリーパックをCMPの電動版であるeCMPでは、一般的なEVプラットフォームと異なり、フロントシート座面下、リアシート座面下、センターコンソールなど車体を上から見たときにH型に重量配分を考えてバッテリーを分けて効率的に配置。ICE版と変わらない室内容量とスペースを確保しています。また電動モーターならではのデリケートなアクセル操作にも追従する特性と電動走行ならではのリニアな加速を実現しました。これまで以上に電費効率を向上させたことで、航続距離はWLTCモードで405km、JC08モードで459kmとなっています。



INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

ドライブモードと回生ブレーキ：3つのドライブモードと2つの回生モード

NEW E-C4は3つのドライビングモードを用意しています。

スポーツモード：パフォーマンスとフィーリングにプライオリティを置いたモード
100kw/260Nm

ノーマルモード：日々の利用における快適性と電費効率を両立するモード
80kw/220Nm

エコモード：航続距離の最大化をはかるモード
60kw/180Nm

また、ブレーキモードは2つの選択が可能で、ドライバーはボタンの操作で好みの回生ブレーキ強度を選ぶことができます。

Dモード：内燃機関でのエンジンブレーキ、アクセルオフの挙動をシミュレートし、自然な走行感を重視

Bモード：エネルギー回生を強化。アクセルペダルだけでより積極的に減速をコントロール

ボタンひとつで充電予約とプリコンディショニングも

NEW E-C4 ELECTRICでは、充電ポートにプラグを差し込みだけで自宅や外出先で手軽に充電がおこなえます。自宅では付属の充電ケーブルを使用するコンセントタイプ（200V 3kW／満充電まで約18時間／50km走行分で約3時間）、ウォールボックスタイプ（200V 6kW／満充電まで約9時間／50km走行分で約1.5時間）の普通充電に対応。急速充電はCHAdeMO規格（約80％充電に約50分）に対応し、外出先の高速道路のサービスエリア、ショッピングモールなどの全国の充電スポットを利用できます。

自宅などでのバッテリー充電時に充電開始時刻をあらかじめ設定しておく充電予約が可能です。電気料金が安い夜間に充電をスタートさせたい場合などに活用いただけます。また、乗車するタイミングに合わせて車内を快適な温度になるようにあらかじめエアコンを作動させるプリコンディショニングもおこなえます。これらはセンターコンソールに配されたNEW E-C4 ELECTRIC専用の物理ショートカットボタンからダイレクトに充電予約画面を呼び出すことができます。



※1充電時間は充電設備の種類や出力、外気温、バッテリー温度などにより変動します。

※2急速充電器では満充電に近づくにつれてバッテリー保護のために速度が調整されるため約80％充電を目安として表現しています。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

**NEW C4：爽やかに回るガソリンエンジン、トルクフルなディーゼルエンジン、
どちらもお好みで**

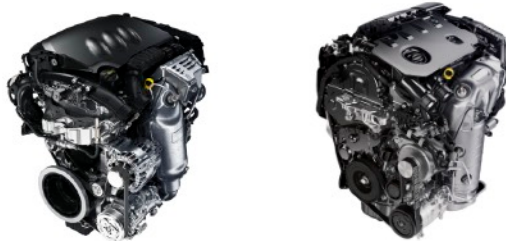
NEW C4にはガソリンエンジンとディーゼルエンジンのふたつのパワートレインのICE（内燃機関）版を用意し、カスタマーのライフスタイルや好みに合わせてお選び頂けます。



ガソリンモデルのパワートレインは世界各国のモータージャーナリストの投票によって決められるインターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤーを5年連続獲得し、傑作と称される1.2ℓ PureTech ターボエンジン。最高出力130ps、最大トルク230Nmを発揮します。250バールの高圧燃料噴射システム、ウェイストゲートバルブの電子制御化、GPF（ガソリン・パーティクル・フィルター）などのテクノロジーを採用。3気筒という概念を覆す爽快で伸びやかなフィーリングと低速域からの力強いトルク感、ドライバーの意図に忠実なトルクデリバリーをEURO6.3対応の高い環境性能とを両立させています。

ディーゼルモデルは定評の1.5ℓ BlueHDiディーゼルターボエンジンです。最高出力130psはもちろんのこと3ℓの自然吸気ガソリンエンジンに相当する最大トルク300Nmを1750rpmという低回転域で発揮する力強いトルク感と加速が特徴です。高回転域までスムーズに吹け上がり、レスポンスに優れるさまはガソリンエンジンに近いドライブフィールとなっています。200以上もの特許技術が採用されており、DOHC16バルブヘッドに酸化触媒、SCR（選択還元触媒）、DPF（微粒子フィルター）を同一ユニットとしてコンパクトにまとめることで排気ガス処理の効率を大幅にアップ。最新の欧州排出ガス規制のEURO6.3をクリアしています。

ガソリンエンジンで17.7km/ℓ（WLTC）、19.9km/ℓ（JC08モード）、ディーゼルエンジンで22.6km/ℓ（WLTC）、23.7km/ℓ（JC08モード）という優れた燃費は電子制御8速オートマチックトランスミッションEAT8による相乗効果です。



1.2ℓ PureTech ターボエンジン／1.5ℓ BlueHDiディーゼルターボエンジン

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

コンフォート：乗る人すべてに移動の喜びと幸福感を。

シトロエンがNEW C4 & ë-C4 ELECTRICで目指したのは、もっとも心地よいCセグメントの提供です。シトロエン創業以来100年以上に渡るクルマ作りのテーマ、コンフォート（快適性）をさらに押し進めたのが、CITROËN ADVANCED COMFORT®プログラムという開発コンセプトです。ストレスを感じないこと、居心地のよい移動空間であること、わかりやすいUI/UX、かるやかな気持ちでいられること、そして数々の先進的な運転支援機能がもたらす安心感。乗る人すべてを幸福感で満たすモビリティをNEW C4 & ë-C4 ELECTRICで体験いただけます。

伝説の“ハイドロニューマチック”の現代的解釈：PHC（Progressive Hydraulic Cushions™）

NEW C4 & ë-C4 ELECTRIC全車に搭載されているPHC（Progressive Hydraulic Cushions™=プログレッシブ・ハイドロリック・クッション）は、シトロエンのサスペンションテクノロジーにおけるイノベーションです。伝説となったハイドロニューマチックはもちろんのこと、それ以前にもトラクシオン・アヴァンのモノコック構造+トーションバースプリングや2CVのマスダンパーなどがあったことから自明のように、シトロエンのサスペンションシステムは、どれもが技術のための技術ではなく、差別化のための新奇でもなく、あくまでシトロエンが求める快適性を実現するための手段でした。このシトロエンのDNAを受け継ぐサスペンションシステムがPHCです。



PHCは、純メカニカルで信頼性に優れたダンパーです。通常のツインチューブダンパーの構造に第二のダンパーシリンダーが加わっています。このセカンダリーシリンダーには複数のポートが開けられており、その内径にあったセカンダリーピストンが存在しています。サスペンションのストロークが進むとこのセカンダリーピストンがシリンダーに入り込みハイドロリックバンプストップとして作用する、いわゆる位置依存型（ポジション・センシティブ）ダンパーです。

これにより、サスペンションが小さく細かく動く状況（車高が通常の高さから大きく外れない状況）や、サスペンションのストロークスピードが低い状況では、減衰力が低くおさえられるため、きわめてソフトでスムーズな、いわゆる“ゆるフワ”な乗り心地を提供します。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

一方でサスペンションが大きく動く状況では、前述のセカンダリーピストンとシリンダーが産み出す減衰力で衝撃をスムーズに吸収し、大きな凹凸でも底付き感のない懐の深いフィーリングを提供します。

一般論として通常のダンパーの場合、圧側（縮側）で大きくストロークした場合、ゴムやウレタン製のバンブラバーがその衝撃の吸収を担いますが、ストローク時のエネルギーを減衰することができず反発力となってしまうために乗り心地や挙動の悪化を招くことがあります。PHCの場合セカンダリーダンパーが減衰力を発揮するためにこうした挙動が起こりにくくなります。

そのメリットとして以下のものが挙げられます。

- ・“魔法の絨毯のような”極めてソフトな乗り心地
- ・余計なサスペンショントラベルを減らし、快適性の向上
- ・純機械的なメカニズムのため高い信頼性



※図版のセカンダリーシリンダー内にあるスプリングは内蔵ピストンを定位置に戻すためのもので、スプリングレートそのものには影響しません。

NEW C4 & ë-C4 ELECTRICでは、このPHCがはじめて最新世代プラットフォームCMPと組み合わせられました。もともとCMPが持つフリクション感の少ないサスペンション動作フィーリングとPHCの懐の深いダンピングが相まって、その乗り味はまさにクラスレス。Cセグメントの常識を超越したフラットかつストローク感豊かで、きわめて滑らかな乗り心地を体験いただけます。

なお、NEW C4 & ë-C4 ELECTRICでは、フロントは圧側伸側の両方にセカンダリーダンパーによるハイドロリックストップを、リアは圧側のみに備えています。

※PHCの技術資料はhttps://newsroom.groupepsajapan.jp/news/20201020_citroen_phcをご参照ください。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

伝統的フランス車の伝統の座り心地をモダンイズ：アドバンストコンフォートシート

PHCとともにNEW C4 & Ë-C4 ELECTRICの卓越した移動体験を生み出すのがアドバンストコンフォートシートです。Cセグメントのイメージを覆すたっぷりとしたサイズのシートは、身体をソフトに優しく包み込みつつ、確実に身体をサポートします。業界平均に対して非常に密度の高い独自の高密度フォームを採用し、またシート表皮中央部には15mm分の追加ウレタンレイヤーを重ねることで、座った瞬間の当たりの柔らかさとなじみの良さを向上させています。座った瞬間に感じられるソフトで快適なフィーリングと、たっぷりとしたクッション厚さによる運転時の快適性、健全な姿勢の維持を提供します。これらによって自動車のシートに求められる動的な身体保持性能とラウンジのソファのようなリラックスした座り心地を両立しています。また、SHINEでは運転席の高さとバックレスト角度の電動調整、フロントシート電動ランバーサポートとシートヒーターを備えています。



クラスを超えたくつろぎと、使い勝手を重視したアメニティ：室内空間と快適装備

NEW C4 & Ë-C4 ELECTRICは、乗る人すべてに等しく快適な移動体験を提供します。これは自由・平等を打ち立てたフランスならではの価値観かもしれません。リアシートにもフロントシート同様にアドバンストコンフォートシートを採用。パッケージング効率に優れたプラットフォームCMPを2665mmというロングホイールベースにしたことによりクラス最大級の後席ニースペースとあいまって大人がゆったりとくつろげる空間に仕上げています。SHINEのシートはブラック基調のレザー&テップレザー、FEELはグレー基調のファブリック&テップレザーのコンビネーション。シートとドアトリムのアクセントはNEW C4とNEW Ë-C4 ELECTRICで異なるアレンジを施し、個性を出しています。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

助手席の人にもエンタテインメントを：シトロエンスマートパッドサポート®

助手席側のダッシュボードには、シトロエンスマートパッドサポート®を装備いたしました。これはダッシュボードにタブレット端末を固定するスタンド※を用意し、専用ホルダーに入れた端末を走行中でも安全・快適に操作することができるというものです。助手席の同乗者にいつもの使い慣れたタブレット端末でドライブの時間をさらに快適にしてもらうための装備で、これもまた乗る人すべてが快適に移動を楽しめるようにという配慮です。さらにクルマを離れる際などにタブレット端末を収納するドロワーもグローブボックスに備わります。

※取付けには別売りホルダーが必要となります。対応機種はApple iPad第7世代、第8世代、第9世代、iPad Air第3世代、Amazon Fire 7 第9世代などです。



後席の同乗者にも開放感を：スライディングガラスサンルーフ

また、SHINEにはスライディングガラスサンルーフを標準装備いたしました。後席前方までカバーする広いガラスエリアを持ち、自然光が降り注ぐ車内は明るく開放感に満ちています。昼間なら四季折々の風景と太陽の恵みを満喫し、夜間であれば満天の星空も、月明かりのナイトクルーズも楽しめます。そのフィジカルにもメンタルにも明るい空間は、すべての乗員が等しく移動の自由を味わえる装備です。アウトースライド式となっており、前側は開閉可能でフレッシュな外気も取り入れることができます。また、室内側には直射日光をさえぎるサンシェードも装備いたしました。ここでも乗る人すべてに平等に移動の喜びと快適さを提供します。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp



UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時



荷物の積み下ろしもノーストレスでコンフォートに：段差のないフラットなフロア
ラゲッジスペースは容量380ℓ（VDA方式）で、リアシートを倒せば最大1250ℓ（VDA方式）ものスペースが生まれます。広大かつ低い開口部、用途に応じた2ポジションのフロアボード、段差のないフラットなフロアなどで、荷物の積み下ろしもストレスなくおこなえます。この運用面でのストレスのなさもまた、CITROËN ADVANCED COMFORT®プログラムによる成果です。



INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

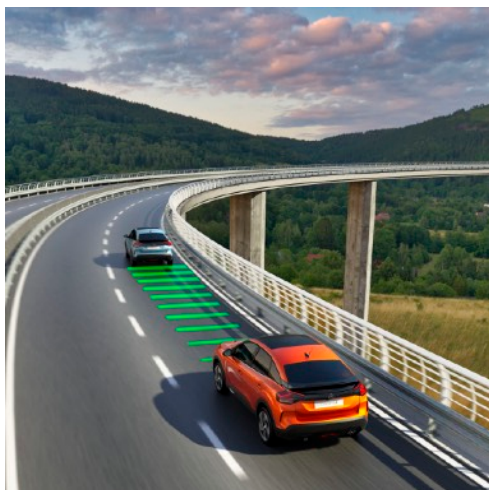
先進の安全運転支援機能：最新シトロエンのならではの安心と快適性を提案

安心こそが、快適性を生むとシトロエンは考えています。NEW C4 & ë-C4 ELECTRICにはシトロエンの新世代ハッチバックに相応しい数々のセーフティ&ドライバーアシスト機能を装備いたしました。

自分が快適と感じるポジションを高速道路でキープ：アクティブクルーズコントロール ／レーンポジショニングアシスト

アクティブクルーズコントロールは高速道路などでの走行時に前走車がない場合は設定した速度を自動で維持。前走車がいる場合は、その速度と距離を検視し、アクセル、ブレーキ、エンジンブレーキ（もしくは回生ブレーキ）の自動制御で適切な間隔を保ちます。約30km/h～180km/hの速度域に対応します。また、トラフィックジャムアシストは、アクティブクルーズコントロール作動中に、渋滞などで前走車が停車した場合は適切な距離を保ちつつ完全停止と3秒以内の再発進が可能となっています。3秒以上経過した場合は、スイッチもしくはアクセル操作で再発進し、設定速度まで回復いたします。

レーンポジショニングアシストは、車線の左右の白線内の任意の位置を指定して走行が可能。これはドライバーの好みに応じて車線のやや左側をキープしたり、高速道路の流れが遅い状態で車線左側をオートバイが通過しがちな場合にやや右側にNEW C4 & ë-C4 ELECTRICを寄せるなどのアレンジが可能です。システムが強制的に車線中央のみを走行することで、ドライバーに違和感を感じさせるというようなことはありません。あくまで人の感覚に寄り添った快適なドライブアシストです。



アクティブクルーズコントロール
／レーンポジショニングアシスト

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

万が一のときの被害軽減：アクティブセーフティブレーキ

前方の車両や障害物を検知し、ドライバーが回避操作を行わない場合に自動的にブレーキを作動させるアクティブセーフティブレーキ（被害軽減ブレーキ）を装備しています。作動範囲は約7km/h～140km/h。約80km/h以下では停止車両を、約60km/h以下では歩行者も検知し、衝突事故などの危険を回避もしくは衝突の被害を軽減します。

二次的な衝突リスクを削減：ポストコリジョンセーフティブレーキ/ディスタントアラート

ポストコリジョンセーフティブレーキはシトロエン初の装備となります。これは万が一の衝突時に、エアバッグやシートベルトプリテンショナーが作動すると自動的にブレーキをかけ、二次的な衝突リスクを軽減する機能です。さらに約30km/h以上の走行時にフロントレーダーにより前走車との距離を検知し、ドライバーに視覚と音による警告で注意を促すディスタントアラートも備わっています。



アクティブセーフティブレーキ



ポストコリジョンセーフティブレーキ
/ディスタントアラート

すみずみまで行き届いた運転補助：バックカメラ/インテリジェントハイビーム

バックカメラは車両後方の状況をセンター部に10インチのタッチスクリーンに映し出します。車庫入れなどの後退時に距離や角度を確認できるガイドラインにより正確な運転操作のアシストをいたします。インテリジェントハイビームはフロントウィンドウに設置された車載カメラで前方の状況を分析。対向車や前方車両を検知してハイビームとロービームを自動で切り替え夜間走行の安全性を高めます。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時



バックカメラ



インテリジェントハイビーム

坂道発進もより簡単に：ヒルスタートアシスタンス／エレクトリックパーキングブレーキ

ヒルスタートアシスタンスは約3%以上の勾配の坂道でブレーキペダルから足を放しても約2秒間制動力を保持し、坂道発進をアシストするもの。エンジンを停止するとパーキングブレーキが作動しアクセル操作で自動解除するエレクトリックパーキングブレーキともにより安全でストレスのない運転を提供いたします。



ヒルスタートアシスタンス



エレクトリックパーキングブレーキ

その他、フロント&バックソナー、コーナリングランプ、プロキシミティスマートキー、ブラインドスポットモニター、ドライバーアテンションアラートなどを装備しています。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp

UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

ボディサイズ

モデル名	全長	全幅	全高	ホイールベース	車両重量
NEW C4 FEEL	4375mm	1800mm	1530mm	2665mm	1320kg
NEW C4 SHINE					1340kg
NEW C4 SHINE BlueHDi					1380kg
NEW Ë-C4 ELECTRIC					1630kg

グレード構成

モデル名	ボディ	ドライブトレイン	トランスミッション	税込価格
NEW C4 FEEL	5ドア HB	1.2 ℓ 直列3気筒 ターボ 96kW/5,500rpm(130ps) 230Nm/1,750rpm	8速オートマチック EAT8	2,900,000円
NEW C4 SHINE	5ドア HB	1.2 ℓ 直列3気筒 ターボ 96kW/5,500rpm(130ps) 230Nm/1,750rpm	8速オートマチック EAT8	3,250,000円
NEW C4 SHINE BlueHDi	5ドア HB	1.5 ℓ 直列4気筒 ターボディーゼル 96kW/3,750rpm(130ps) 300Nm/1,750rpm	8速オートマチック EAT8	3,450,000円
NEW Ë-C4 ELECTRIC	5ドア HB	交流同期電動機 100kW/5,500rpm(136ps) 260Nm/300-3,674rpm	オートマチック	4,650,000円

NEW C4 & Ë-C4 ELECTRIC ボディカラー



ブラン パンキーズ



ブルー アイスランド*



グリ プラチナム*



ブラン キャラメル*

*特別塗装色（有料オプション60,500円）

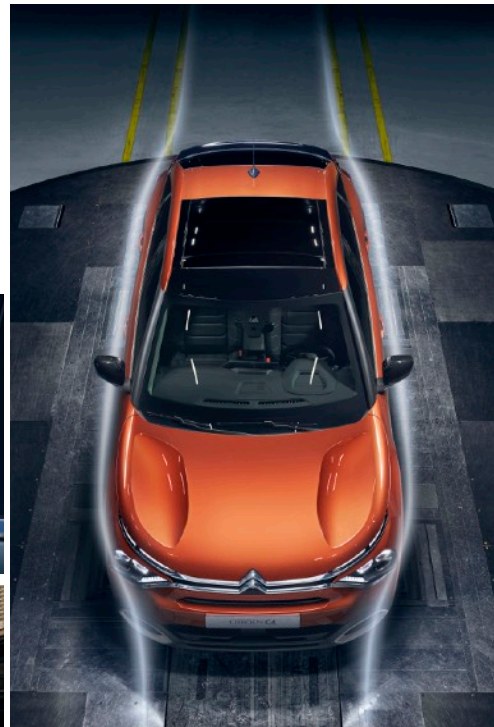
INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp



UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

NEW C4 & E-C4 ELECTRIC プレスフォト



※写真は一部欧州仕様車が含まれます。

※Apple CarPlayは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
Android Autoは、米国およびその他の国で登録されたGoogle Inc.の商標です。

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp



UNDER EMBARGO UNTIL 7 JAN. AT 11 AM JST
情報解禁2022年1月7日11時

*本リリースにおける「電動化」「エレクトリフィケーション」（英語：electrifiedなど）は、動力源として、ICE（Internal Combustion Engine：内燃機関）に加えて電気を使用したハイブリッド（HEV）、プラグイン・ハイブリッド（PHEV）、水素燃料電池（FCV）などを含む表現です。必ずしもバッテリーと電気モーターのみを動力源とした電気自動車（BEV、フルEV）だけを指すものではありません。

シトロエンについて

1919年の創業以来、インターナショナルなフルライン自動車ブランドとして、堂々と、そしてクリエイティブなアプローチでつねにマーケットに臨んできたのがシトロエンです。個性溢れる特徴的なデザインとコンフォート性と先進技術によって自動車のある幸せなライフスタイルの提案をするシトロエンの各車を通じて自動車産業に新たな風を吹かせています。クルマに乗る人々とそのライフスタイルを真の意味で反映させたプロダクトを提供することを使命としており、ブランドのタグライン“Inspired by You”には、このフィロソフィーが込められています。シトロエンの製品は80近い国々で販売されており、2018年にはおよそ105万台の販売数を記録いたしました。また、国内販売は5年連続純増と好調に推移しており、ブランド創立100周年を迎えた2019年度は、前年比120.6%の国内販売4068台を記録。翌2020年度は22.2%増で4970台となりました。2021年度は第1四半期の累計販売台数が1,705台（対前年比149.8%）となり、こちらも日本におけるシトロエンブランドの第1四半期の販売新記録となっています。

PRESS CONTACTS

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
pr@groupepsajapan.jp

報道関係者お問合わせ先
Groupe PSA Japan 広報サポート
株式会社 プラップ・ジャパン（担当：柳澤・宮田・平松）
TEL: 03-4580-9102 / FAX: 03-4580-9128
psa_pr@prap.co.jp

報道関係以外のお問い合わせ シトロエン コール TEL：0120-55-4106

INSPIRED BY YOU

Groupe PSA Japan 株式会社 広報室
〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-1-3
pr@groupepsajapan.jp